



GLOBAL MAPPING NewsLetter

特別号

持続可能な開発を地球規模で地図化する 地球地図国際運営委員会新委員長からのメッセージ ポール・チュン教授



関係各位、

この書簡は地球地図国際運営委員会 (ISCGM) 事務局からの挨拶とともに、後継の委員長としての私の新しい職権により皆様のもとに届けられます。私は、2013 年 7 月からの新委員長として私を選んでくださった皆様方の信頼と信任を非常に光栄に思います。ジョン・エステス教授（1996 年～2001 年）とフレイザー・テイラー教授（2002 年～2013 年）に続く 3 人目の ISCGM 委員長として、私は、前任の方々になされた素晴らしい業

績と、私を待ち受ける責任と挑戦をはっきりと認識しています。皆様方の引き続きの助言、支援と協力を宜しく願います。

ISCGM は、1992 年のリオデジャネイロの地球サミットにおける「地球の生態系、天然資源、汚染と社会経済的な変数」に関するより広範な情報支援のための緊急の行動の呼びかけに応え、「地球地図」の陣頭指揮を執るために 1996 年 2 月に設立されました。20 年後の 2012 年、国連持続可能な開発会議（リオ+20）において同じ呼びかけが繰り返されました。会議の成果文書の「私達が望む未来」のなかで、リオ+20 会議は「地球地図の意義」を具体的に言及し、持続可能な開発の意思決定、プログラミング及びプロジェクト運営、防災及び減災のための信頼できる地理空間情報を求めました。

持続可能な開発アジェンダの文脈での ISCGM の使命は、最初に設立された時と同じ意義を持つことは疑いありません。すなわち「関係の国家、地域及び国際機関が、環境保護、自然災害の軽減や、持続可能な開発における経済成長の促進のための地球規模の合意や協定の実施を促進するために、地球地図整備促進のための手段を検討することである」（規約第 2 条）。これは、1992 年にリオにおいて、また、2012 年に再度なされた行動の呼びかけと完全に同列になっています。

運営上では、ISCGM は 2 つの重要な任務を持っています。まず、「地球地図の重要性を提唱し、意見交換を行い、調整を促進し、勧告を行う」（第 4 条）基盤となることです。これは ISCGM の主唱者としての役割です。二番目に、ISCGM は、「既知で検証された品質の、

一貫性のある仕様を持つ地理データのまとまりであり、一般に公開される」（第 3 条）と定義される「地球地図」の整備を行う責任を有しています。これは ISCGM の整備者としての役割です。

過去 17 年にわたり、ISCGM と事務局はその業務を認識し、この主要な 2 つの課題に猛然と取り組んできました。持続可能な開発の監視と地図作成における地球地図の意義と利用を検討するために、国際的なフォーラムが定期的に行われました。2013 年 7 月現在、110 カ国・8 地域の地球地図が公開されています。縮尺 100 万分 1 の情報の新しいレイヤが徐々に追加されてきました。品質管理プログラムやマニュアルが作成され、研修が行われてきました。この作業プログラムは継続されます。

これからの 12 ヶ月で過去の業績を振り返り、今後のための適切な計画を作成することは有益であると私は確信します。環境はさまざまに変化してきました。国連では、地球規模の地理空間情報管理を調整し前進させるために国連専門家委員会が立ち上げられました (UN-GGIM)。ISCGM がこの重要なイニシアティブと作業プログラムを調整し、UN-GGIM 傘下の機関と緊密に作業を行うべきことは明らかです。これについては、私はすでに持続可能な開発のための地球地図に関する GGIM 作業部会 (GM4SD-WG) の村上広史部会長と意見を交わし、GM4SD と ISCGM が調和のとれた形で行うそれぞれの役割について、最初の合意に達しました。

また、技術環境も大きく転換してきました。現在では、衛星画像へのアクセスにより様々な主題の地球規模の地図が民間企業や国々によって繰り返し作成されています。多くの場合、これらの地図は、非常に最近のデータを用い大縮尺で表示されています。これらの地球規模の主題図が入手可能になったことは、以前に比べ、縮尺 100 万分 1 の地図の有用性を低くしています。ISCGM の今後の作業プログラムでは、この変化する環境を反映し、必要とされる調整を行うべきです。ISCGM はその「主唱者」と「整備者」としての役割を、どのようにして両立すべきでしょうか？ また、ISCGM は、持続可能な開発の進展と結果の監視と地図作成を前進させるために地球規模の地図の他の作成者とどのように連携すべきでしょうか？

持続可能な開発と、その進捗の監視における地理空間ツールの利用を進展させるための成功への鍵として地球地図を促進させるために、これから皆様とともに働くことを楽しみにしています。ISCGM は長い歴史と献身的な職員を有する計り知れない地球規模の団体です。皆様方の支援と指導で、ISCGM が今後大きな影響を与え続けることを確信します。

ポール・チュン教授
社会政策・分析論教授
国立シンガポール大学



編集・発行： 地球地図国際運営委員会事務局
連絡先 : 305 - 0811 茨城県つくば市北郷 1 番 国土地理院内
Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 8087
ホームページ: <http://www.iscgm.org/>
E-mail : sec@iscgm.org